

群馬県議会議員
須藤和臣 特集号

自由民主党群馬県支部連合会
 〒371-0026 前橋市大手町1丁目13番14号
 ☎027-223-1515 Fax027-221-4721
 URL <http://www.jimin-gunma.jp>



自由民主
 LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所
 自由民主党本部
 郵便番号100-8910
 東京都千代田区永田町1-11-23
 電話 東京 03(3581)6211(代表)
 振替口座 東京00180-1-19518
 定価1部 108円(税込み)
 <毎週火曜日発行>

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>



ぐんまの家庭教育 応援条例制定!

**社会全体で
 子育てを支える**

親学アドバイザーでもある 須藤県議にインタビュー

「なぜ、家庭教育応援条例が必要なのでしょう。須藤 昨今、子どもを取り巻く環境として、「いじめ」「虐待」「ひきこもり」など、さまざまな課題があります。県教育委員会や行政においても、その対応に努力し

ていますが、条例化するこ
 とによって、一層の部局横
 断的な取り組みや予算措置
 が期待できます。そして、
 社会全体で家庭教育を応援
 できるように条例を制定し
 たのです。

「ありのまま」大切に

「家庭教育応援条例制定の狙いは何ですか。須藤 学歴社会など、さまざまな価値観に縛られた昨今の社会では、親が子どもとありのままに向き合うことが意外にも、難しくなっています。

また、向き合う際に、親をはじめ、子育てや教育に関係する方々が独断的な見方で子どもを捉えてしまうことがないようにしなければなりません。そのためには子どもの発達における科学的な知識も必要となります。「ありのままの子どもと向き合える」をコンセプトとして、そのお手伝いができるように、この条例が定められたと言ってもよいでしょう。

自己肯定感育む

「ありのままの子どもと



2年越しの取り組み実る

県議会総務企画常任委員長として、須藤和臣県議は平成26年7月1日、NPO法人日本防災士機構(東京)に群馬県防災士取得講座の協定締結について申し入れを行いました。同機構は防災士資格の認定機関です。

自ら防災士である須藤県議は、県内においても防災士を育成し、県民の防災意識を高めていくことが不可欠であると考え、2年以上前から防災士資格取得講習会及び試験の県内開催が行えるように取り組んできた。

須藤和臣総務企画常任委員長は「このことにより、群馬県内の防災士資格取得者数は飛躍的に向上し、県内各地域の防災力アップにつながる。今後は、自主防災組織などのアドバイザーやリーダー的存在としてご活躍いただきたい」と期待を寄せる。

なお、館林市においては4月14日に県内各市町村に先がけて、館林市防災士連絡会を立ち上げ、防災の取り組みを強化することとした。

群馬の防災力向上へ!

防災士取得講座 県内で開講

防災士の資格取得者は全国で約10万5000人。群馬県は616人と都道府県別では4番目に少ない。災害がないと言われる安全神話と関係があるのだから

うか? これに危機感を持った須藤和臣県議(総務企画常任委員長)の2年越しの取り組みの結果、群馬県でも防災士取得講習会が行える運びとなった。

これにより、東京に行かずとも、県内の受講が可能となり、6万円かかった受講費用も県が独自開催することから無料となり、試験代1万円だけですむこととなった。

親も共に成長する

「この条例により、具体的なことはどのような取り組みが始まるのでしょうか。須藤 一例として、県では今年度より国内外から情報収集し、「親の学びプログ

ram」の作成に着手します。親同士が、交流しながら子育てについての知識やスキルなどを学ぶことができるプログラムです。

今後、関係団体にも働きかけながら、このプログラムを広く普及させていく考えです。また、条例制定を契機に県行政の各局や民間団体においても、さまざまな試みが始まることを期待されます。